

## ご意見と事務局の考え

### 意見24（平成16年12月受付）

（小千谷市在住）

小千谷でも財源運営から長岡との合併を考えてる方もいます。ただホームページ以外に情報入手の手段はなく市職員も地震後の対応で余裕はありません。落ち着いた頃に分かりやすい形で周辺市町村の住民へ新長岡市の将来構想や周辺地域への対応を情報提供してほしいと思います。市議は合併のための議論は終わったと関心は低いです。同じ被災地として共に復興できたらと思います。

#### 事務局の考え

当協議会は、ご覧の協議会ホームページで新市将来構想、協議会だよりなどの協議会資料を載せ、協議会構成市町村はもとより、県内外へ向け情報を発信しておりますので、ご覧頂きたいと思います。また、小千谷市など協議会に参加していない周辺市町村の役場にも協議会だよりや協議会資料を毎回送付し情報の提供をしております。当方からの情報をそれぞれの住民の皆様提供するかどうかは、各市町村の判断にゆだねられております。長岡市から、直接小千谷市民等の周辺市町村住民へ、情報提供することはできませんので、まず小千谷市役所へ住民に情報提供するよう求めることをおすすめします。

なお、森長岡市長は長岡地域広域合併による40万人都市構想の実現を目指しておりますので、小千谷市など協議会に参加していない周辺市町村から合併協議の申し入れがあれば、合併関係市町村長とも相談のうえ、長岡市長として協議に応じることになると思います。

ご意見下さったKさんと同様、我々も小千谷市が合併により長岡市となり、共に復興できたら良いと思います。

### 意見23（平成16年10月受付）

（東京都在住の元長岡市民）

長岡市その周辺の合併に関してご意見申し上げます。今回の合併では、小国町や中之島町等と一緒にするわけですが、とても同じ市とは思えないほど離れています。このように新市は地理的にかなり無理があるように思えるのですが、こうしたことを合併後どのようにして解決し、同じ長岡だと思える施策はあるのかとても気になりました。

#### 事務局の考え

近年のモーターゼーション（車社会）の進展や道路整備により、長岡市役所からそれぞれの役場までのアクセス時間は、中之島町が28分、小国町が40分程度となっております。また、それぞれの地域から長岡市へ通勤や通学、買い物に行くことはごく普通のことであり、現在では日常生活圏や交流圏は一緒であると考えます。

新しいまちづくりの基本計画となる「新市建設計画」においては、道路整備や情報基盤整備はもとより、電子市役所の推進による支所機能の充実、消防施設の充実、さらには、図書館の広域的利用を推進する事業や地域の伝統文化・風土などを発掘・共有して

いく事業など様々な角度から市民と行政が一体となって事業を展開していくことで新市の一体感を醸成していくことにしています。

また、様々な行政サービスの調整においても、町村の地理的条件などにも十分配慮し、共存共栄の精神の基で6市町村は新しいまちづくりを進めていきます。

## **意見22（平成16年11月受付）**

（広島市在住）

この度の新潟県中越地震で、特に山古志村の村民全員が長岡市など他市町に避難しているということで、合併に大きな影響が出ると思いますが、山古志村との合併に関しては、時期を繰り上げてでもやってほしいと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

### **事務局の考え**

この度の震災に際しては、新長岡市を目指すこの長岡地域においても被害が大きく、多くの被災者を抱える当地に、全国から災害物資やボランティアなど暖かいご支援をいただき、この場を借りて厚く感謝申し上げます。

さて、現在の状況をお伝えしますと、特に大きな被害を受けた山古志村の復旧については、ご承知のとおり関係機関から現在全力を尽くしていただいているところです。避難した村民のほとんどは、現在、長岡市内の学校などで避難生活を送っていますが、本震から3週間が過ぎ、長岡市内の仮設住宅への入居申し込みを始めました。また、災害対策本部とは別に、8日から山古志村役場長岡事務所が長岡市役所の分室内に開設し、住民票の発行や相談業務を始めるなど、一步一步ですが、復旧に向けた道のりが始まっております。

ご心配いただきました山古志村を含む長岡地域の合併協議については、必要な手続きをすべて終了しており、来年4月1日には新長岡市が誕生します。合併時期を繰り上げるまでもなく、長岡市をはじめ合併構成市町村は、同じ市民だという気持ちで、既に山古志村に対して団結して協力体制を敷いて支援を行っておりますので、ご安心いただきたいと思います。